

と、「人が最も重要な経営資源である」とお考えの経営者が8割に上る一方で、その重要な企業の人材について、6割近くの経営者が「社員の体調不良が経営に影響を与えた」と感じています。

### 超高齢社会は生産力の低下、事業者数の減少に繋がる

一方で、わが国は、未曾有の超高齢社会に突入しており、社会保障費の増加による財政の圧迫や生産年齢人口の減少による労働力の低下等が懸念されています。

これは一企業にとりましても「生産力の低下に繋がり、中小事業者数の減少が進むなど企業存続への影響が既にあらわれはじめています。

そうした時代を乗り切つて企業を持続的に発展させるために「健康経営」をはじめませんか。

### 中小企業が健康経営に取り組むメリットとは

中小企業が健康経営に取り組むメリットとして、次の3点が挙げられます。

① 経営者・社員間の絆が強くなり、社員が心身ともに生き活きと働けるようになります。

② 社員の活性化により会社が活性化し、社員の定着・採用にも貢献し、相乗効果で事業の拡大につながり

### 中小企業が健康経営に取り組むメリットとは

健康経営は企業の持続的発展に貢献します。

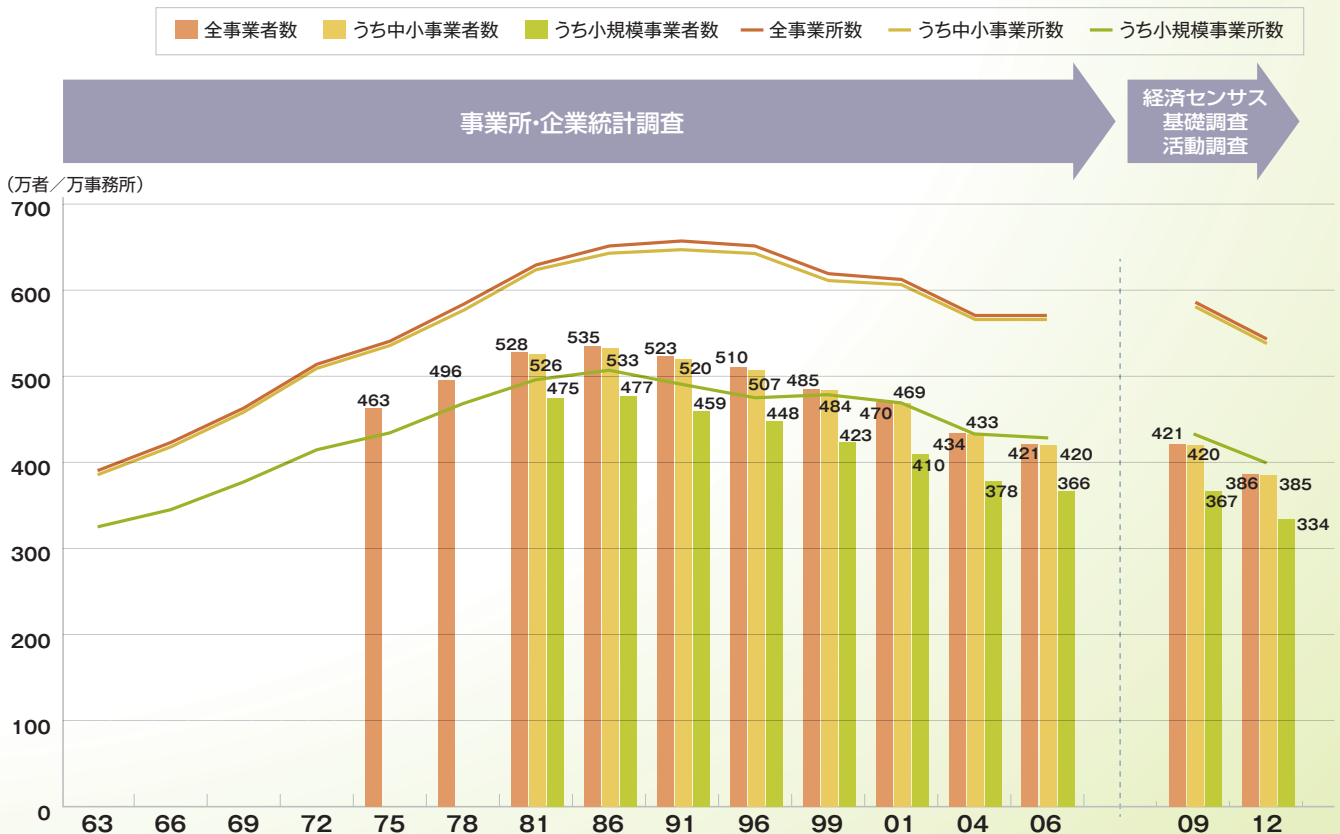
- 1 経営者・社員間の絆が強くなり、社員が心身ともに生き活きと働けるようになります。
- 2 社員の活性化により会社が活性化し、社員の定着・採用にも貢献し、相乗効果で事業の拡大につながります。
- 3 中小企業こそ社員に対する経営者の思いが直接伝わりやすく、より早くより大きな効果が期待できます。

③ 中小企業こそ、社員に対する経営者の思いが直接伝わりやすく、より早く、より大きな効果が期待できます。

このように、「健康経営」は、企業の持続的発展に貢献します。

### 中小企業の現状

1980年代後半以降、少子高齢化等を背景に、中小事業者数の減少が進んでいます。



出典：中小企業庁（総務省「事業所・企業統計調査」、「平成21年経済センサス-基礎調査」、総務省「経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」再編加工